

# 日中友好新聞

## 府連通信

2013年11月号  
 日本中国友好協会大阪府連合会  
 〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19  
 東洋ビル本館207 TEL06-6372-8131  
 050-3413-6491 FAX06-6372-8132  
 郵便振替口座 00970-5-8978  
 E-mail:jcfa@j8.so-net.ne.jp  
 ホームページ http://www005.jp.jp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/

### 南京対外友好協会を表敬訪問 歴史認識を深める平和の旅

十月十一日から十五日、十六ていしました。

名で平和の旅へ、南京では民間人が作った抗日戦争記念館と、南京大虐殺記念館、国際安全区委員長ジョン・ラーベ氏邸宅、雨花台烈士殉難処・陵園など、日中戦争に関する施設を見学、ガイドの湯(タン)さんから詳しい解説を受けました。

ジョン・ラーベさんは「許す事は出来ても、忘れてはいけない、歴史は鏡であり、歴史の教訓を忘れてはならない」と記し



上海市人民対外友好協会

十月十一日から十五日、十六ていしました。

南京対外友好協会を表敬訪問し、中国側から「政府関係は良くないが、相互理解と草の根交流を深めたい。名古屋市長の発言以来交流中止が続いているが、民間交流は続けたい。」とあいさつがあり、渡辺武大阪府連会長から「七年前にも訪問したが、街の大きな変化に驚いている。

### 秘密保護法案は何を狙っているのか？ 安倍総理に撤回を要請

安倍政権が今国会に提出する「秘密保護法案」の動向が気になります。あなたは、この法案をどう思いますか？

なぜ政府が提出したのか？何を狙っているのか？

一般国民との関わりは？日本の未来はどうなるのか？

事態は急を要しています。日中友好「堺・美木多連絡会」は、十月二十八日、二十九日に国会に代表団三名を送ります。

紫金山合唱団の南京公演で市民や大学生との交流が深まった、太極拳や中国語教室などを通じて文化交流を深めてゆきたい。」と心じました。

1980年代から中国各地に百か所を超える抗日戦争記念館が建設され、青年や中高年層などはひろくたくさんの人たちが訪れています。先ず心からの反省と正しい歴史認識が必要だと感じた平和の旅でした。帰国する十五日、上海の対外友好協会を表敬訪問、午後は師範大学にある慰安婦資料館を見学し、中国人教授が旧日本軍による慰安婦所の真相を暴くため、資料館として大学構内に作り、中国の慰安婦問題の研究を続けているとの事です。2007年七月、開館の日に蘇智良教授と海南省の慰安婦被難者林亜金さんのテレビインタビューしている写真が展示されていました。

### 中国百科検定 ものしりコース

中国の多方面の知識理解を通じて、中国への理解者を増やし、日本と中国の多分野での交流を盛んにするための検定です。

公式テキスト「中国百科」を基本範囲として、地理、歴史、政治経済、文化の四分野から出題され、府連事務所販売中。

三月二日(祝)三時から四時 大阪会場は天六関西大学校舎 受験料は三四〇〇円 詳細は中国百科検定公式サイトへ

### 2014年カレンダー「中国悠久の旅」

1,200円で販売中

今回のカレンダーには大阪から、2月「梅里雪山」玉井 質(府連直屬)と4月「大里古城」廣原資泰(東大阪支部)の、写真が掲載されています。



### 北京風雷京劇団神戸公演

11/19(火)18:30(開演)

神戸文化ホール(中ホール)

神戸地下鉄大倉山駅すぐ、前売4,000円(当日4,500円)

チケットは大阪府連事務局で取り扱っています。

チケットの普及にご協力下さい。



# 歴史認識こそ平和の基礎

## 平和の旅に参加して 富本正幸

ついに果たせた、日本人として過去を深く反省する旅 訪れた日は、たまたま日曜と企画された日中友好協会大阪府に驚きました。数々の残虐行為連合会と現地ガイドの湯福啓さんの写真や説明、当時の新聞紙面に厚くお礼申し上げます。の展示によって、特に中国の人々

今回の旅を要約しますと、現場を訪れて歴史の教訓を体たまま館を去る人も多いに違得できたこと、両国関係の冷ありませぬ。立場を替えれば、却化にかかわらず草の根交流のそれは当然のことです。私は償機会を持たなかったこと、商業ベリーの気持ちいっばいで肩身が狭入を離れた湯ガイドさんの百科、暗澹たる心理状態でした。全書的説明と親切さに感服した日本人か？と、じつと見つめこと・・・が印象に残ります。

亡父が軍人で満州事变初期から航空機の整備に従事していたほつとしました。ことや敗戦前後の体験から、私展示案内の結語に「歴史をよは小学生時代から東京裁判をはく学び、未来の平和に生かそう」じめとして戦争と平和の問題にとありませぬ。日本はあくまで強い関心を抱いてきました。

中でも、たえず注目を集めてとりわけ政界のリーダーたちはきた南京事件について、ぜひ南歴史を深く学び、アジアの恒久京大虐殺の記念館を訪れ、中国平和のために全力を尽くすべきの人々がどう受け止めておられます。南京・梅園新村記念館で

るか、また、我々として、どのように新しい友好関係を築いていくべきか、ということが頭から離れませんでした。しかし、実は旧日本軍の罪の大きさにたじろいで、なかなか個人では南京を訪れる勇気が出ませんでした。



南京大虐殺記念館

見た彫像の周恩来氏の温顔、揚州・大明寺での鑑真和尚の尊像に思いをはせて、両国の未長い発展に私も微力を尽くさねば、との思いです。皆様、ありがとうございました。

# 指導員のレベルアップ目指し

## 高知で太極拳講習会

太極拳全国指導員講習会が二日から高知県春野体育館で開催され、六〇数名が二四式、四八式、三二式剣の三クラスに分かれて、三日間研修を行ないました。この講習会は指導員のレベルアップを目的に開催され、参加者からの質問に答えながら講習会に参加しました。



3 2 式剣クラス



2 4 式クラス

# 中国の現状と変化を討論

## 中国の体制を考える第二回学習会

十月二七日(日)『日中友好新聞』の「リーダー」執筆者でお馴染みの井手啓二先生の二つの論文(「現代中国資本主義論によせて」、「中国経済改革論」)を題材として、「中国の体制を考える」第二回定例研究会が、田端誠史さんの報告をもとに十二名の参加で行われました。



芽生えは宋代からあるわけで、それが大きく資本主義に展開していくのはアヘン戦争以降であり、改革開放までの期間を資本主義の原始的蓄積段階ととらえることもできる。それによって、後の驚異的發展も説明しうるし、本当の意味での人民主体が全社会的に確立する難しさも見てくるのではないか。

田端さんは冒頭に、井手さんが「中国が市場経済を導入したから『資本主義』と決め付けるのは誤った議論だ」としていることについて、「社会主義市場経済」という議論と実践はそれほど長い歴史をもつものではない、少なくとも、ソ連・東欧(伝統的社会主義)の崩壊について、社会主義を論ずる人々にやる世界レベルでの総括が行わ

と見るよりは「複合的な体制」と見たほうが良い。国有、集団、私有など複数の経済が、市場メカニズムによる資源配分システム的作用を受けつつ営まれていく。この現実を直視すべきこと。生産手段の社会主義的所有に渡ったとしても、それを活かしてどうするかが働く者の手に委ねられることになる。そのよう

以上報告を受けて、約二時間わたって活発な質疑応答と議論が行われました。

次回第三回目は、一月十九日(日)午後二時から行われます。